

# IN 片知溪谷自然観察実習

11月12日に、山地帯の樹木を学ぶため、美濃市片知溪谷（標高約700～800m）で1年生が自然観察実習を行いました。

樹木観察実習では、イタヤカエデ、コハウチワカエデ、ミズナラといった山地帯に生息する12種類の樹木の葉を識別するテストに全員が合格し、林科の生徒として、樹木の知識を増やすことができました。



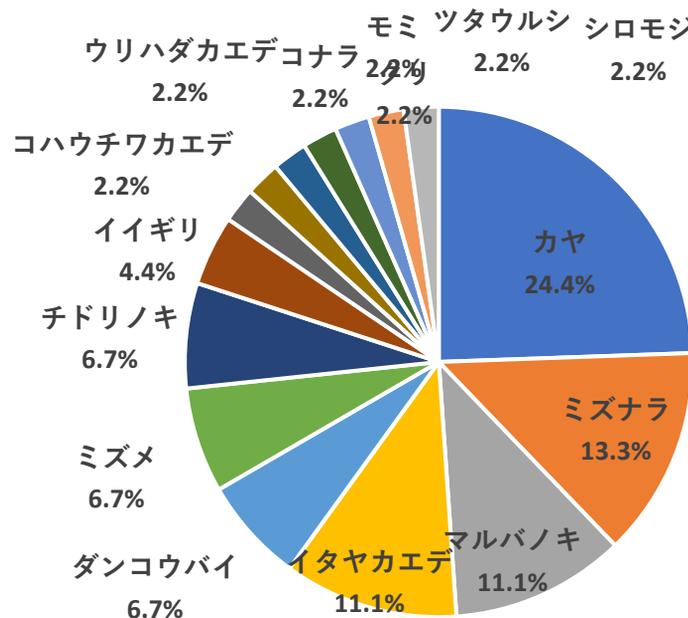


## ふくべの森にて 記念写真

### 実習レポートより、生徒の感想

- ・ウリハダカエデの樹皮は、スイカみたいで面白かったです。
- ・同じような葉で見分けにくかったですが、よく観察すると、色や形に違いがあることに気付けたのが、とても面白かったです。
- ・カヤの葉がとても痛かったのと、グレープフルーツの匂いが心に残りました。
- ・標高で樹種がとても変化することが良く分かりました。
- ・ダンコウバイの匂いは、とても良い香りでした。ミズメは本当に湿布薬の匂いだと思って、びっくりしました。
- ・マルバノキはハート形の葉で紅葉しているのが、とても美しいと思いました。
- ・チドリノキは、形はカエデらしくないのに同じ仲間だと知ってびっくりした。

順位	樹種名	科名	針・広・常・落	回答数	特徴、雑学など
1	カヤ	イチイ科	常緑針葉樹	11	葉は左右対称で、先端は非常に鋭利なため、触ると痛いこと、枝が緑なのが特徴。陰樹で日陰に耐える高木である。
2	ミズナラ	ブナ科	落葉広葉樹	6	コナラより鋸歯が大きく、葉脈が明瞭であり、葉柄が殆ど無い。温帯林の代表樹種。木材として高級。ナラ材は本種をさすことが多い。
3	マルバノキ	マンサク科	落葉広葉樹	5	紅葉が美しく、秋に花が咲く珍しい樹木である。丸みのあるハート形の葉が特徴である。
	イタヤカエデ	ムクロジ科	落葉広葉樹	5	鋸歯を持たないカエデ類であるのが一番の識別点。木材としても高級な樹木。カエデ材は本種。
4	ダンコウバイ	クスノキ科	落葉広葉樹	3	分裂するがシロモジほど切れ込まない。春の花は美しく、梅の花のような香りがする。
	ミズメ	カバノキ科	落葉広葉樹	3	葉が重鋸歯で、2枚一緒に出る特徴を持つ。樹皮はサクラに似ており、剥がすと湿布薬（サリチル酸メチル）の匂いがする。
	チドリノキ	ムクロジ科	落葉広葉樹	3	分裂葉ではないカエデ属の樹木で、シデ類のような葉が対生する。
5	イイギリ	ヤナギ科	落葉広葉樹	2	葉が飯を包むのに使われ、キリに似ていることからこの名がついた。赤い目立つ実と左右対称に枝が出る樹形が特徴的である。
6	コハウチワカエデ	ムクロジ科	落葉広葉樹	1	葉は分裂し、やや幅広い形で、鋸歯が目立つ。紅葉が美しい樹木。400m以上から生える。
	ウリハダカエデ	ムクロジ科	落葉広葉樹	1	樹皮はウリのような模様。葉は分裂し鋸歯が目立つ。紅葉が美しい樹木。400m以上から生える。
	クリ	ブナ科	落葉広葉樹	1	葉裏から鋸歯まで緑（グリーン）であることが特徴であり、クヌギやアベマキよりも高い標高まで分布する。
	シロモジ	クスノキ科	落葉広葉樹	1	葉は3つに分裂し、深く丸い切れ込みが入るのが特徴。低木層に多く生える樹木。
	コナラ	ブナ科	落葉広葉樹	1	里山林の代表的な樹木であり、薪炭材やシイタケの原木としてよく用いられている。
	モミ	マツ科	常緑針葉樹	1	モミは葉先が二股に分かれ、枝が白く、葉が不对称に出るのが特徴。陰樹で日陰に耐える高木である。
	ツタウルシ	ウルシ	落葉広葉樹	1	つる性の樹木であり、雌雄異株で有毒植物。ウルシ類では最強の毒を持つ。



実習レポートで、生徒に最も印象に残った樹種を答えてもらったところ、1位がカヤとなりました。触ると葉が痛いのが印象的だったようです。この実習を通じて、多くの樹木を覚えることができました。